

(株)落雷抑制システムズ

〒 220-8144  
 横浜市西区みなとみらい 2-2-1  
 横浜ランドマークタワー 4406  
 TEL 045-264-4110

学校は楽しい前に安全でなければならない

最近、誰でもが子供時代と比べたら平均気温が高くなっている事を実感しています。平均気温が高くなると空気中の飽和水蒸気の量も増え、日差しも強くなれば上昇気流も強くなり、大気汚染の影響で大気中の微粒子（エアロゾル）も増加して、これが核となり、雲も発生しやすくなります。突然の雷雨の増加は誰でもが実感しています。

そのような環境の変化の中にあっても、子供の安全は守らねばなりません。避雷針があるから安全？「雷を避ける針」と表記する避雷針、実は、そこに雷を誘導するためのもので、カミナリを被る「被雷針」と言うのが意味としては正しいのです。

この避雷針、雷様は気まぐれで必ずしも「避雷針」に落雷しませんし、避雷針に落ちたとしても、強力な雷電流の副作用を電気/電子製品に及ぼします。

落雷など呼ばない方が安全なのです。

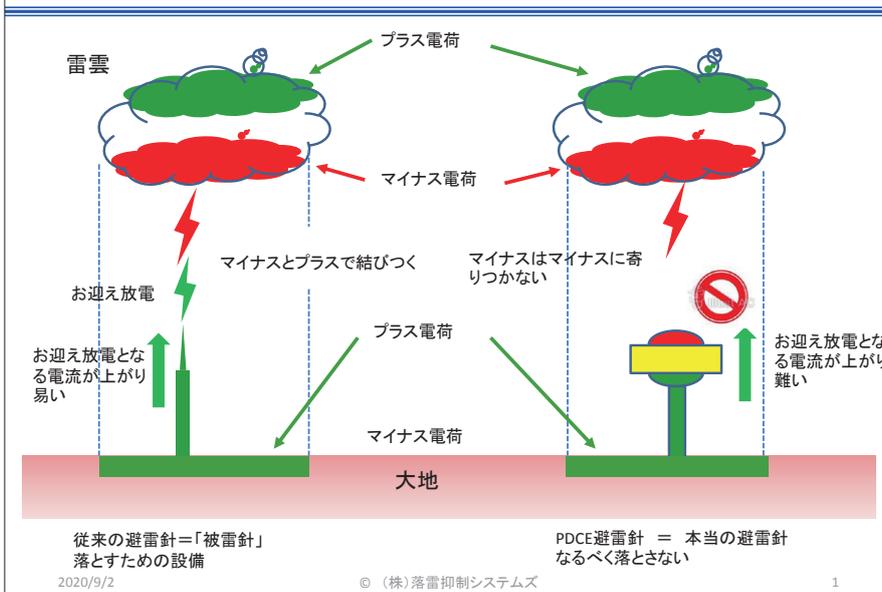
PDCE 避雷針を設置すると、その近辺には落雷し難くなります。相手は自然現象ですから人智を超えて PDCE 避雷針自体に落雷することも皆無ではありませんが、過去 10 年間に約 2600 台を設置し、その実証からすると約 1000 年に一度程度です。

雷雨の中では、建物の中で雷雨が通り過ぎるのを待つのが一番です。ですが、突然の雷雨もあります。安全対策は事故が発生してからでは間に合いません。病気も、治療よりは予防の時代、落雷についても予防できる時代です。

校庭、校舎の安全対策にお役立てください。



PDCE避雷針と従来避雷針との相違



PDCE 避雷針が落雷を発生させにくい理由

- ①大地は、通常マイナスに帯電していますが、上空に強いマイナス電荷を持った雷雲が来ると、雷雲の直下はプラスに帯電します。
- ②通常の避雷針は、地面のプラス電荷を上空に放出し（お迎え放電）、上空（マイナス電荷）から地面に向かって降りてくるマイナス電荷と結合し、放電路を作るとそこに大きなマイナス電流がながれます。これが落雷です。
- ③ PDCE の場合には、雷雲の直下でプラスになった地面からの電流は、PECD の中で遮られ上空にお迎え放電が流れ難くなります。
- ④ PDCE の上部電極もマイナスに帯電するため、上空から降りてくるマイナス電流は自分と同じマイナスに帯電している PDCE に近づきません。」

